

●日比谷データベース講座●PICK UP VOL.24 【ヨミダス】

ヨミダスのビジネス活用法

読売新聞のデータベース「ヨミダス」を使ったビジネス活用法を学びます。通常のデータベースのご利用は館内端末でのご提供となります。当講座は、講座用トライアルID(当日~1週間有効)を利用して、ご持参のパソコンやスマートフォンでも受講できます。

●日時: 7月12日(金) 18:30~19:30(18:15開場)

●講師: 渡辺 英史(読売新聞東京本社 メディア局事業部)

●会場: 2階 図書フロアカウンター前

●参加費: 無料 ●申込・受付不要、途中参加・退席可

展示 ● PICK UP

3F グリーンゾーン

今昔東西建築史 ~建築から学ぶ~



建築は歴史上、権力や文化、芸術と密接に関わりながら発展してきました。この展示では古今東西のいろいろな建築に焦点を当て、建築がどのように社会、文化と繋がりを持ってきたかを紹介しています。また、建築そのものの多様性、様式美もお楽しみください。



9つのトピックスに分かれています。



廃墟や世界遺産もご紹介しています。



ガウディの伝言

●外尾 悅郎著
●光文社新書
●2006年



東京駅の建築家 辰野金吾伝

●東秀紀著
●講談社
●2002年

〈第4回〉大人のボードゲーム部



ボードゲームは相手プレイヤーとの交渉力や、序盤から終盤までの展開を予想した戦略性が問われる大人こそ楽しめる遊びです。今回は、大人でもじっくりと楽しめるゲームから、10分程度で気軽に楽しめるゲームまで幅広い種類のゲームを用意しています。お気軽にご参加ください。

●日時: 7月26日(金) 18:30~20:30(18:15開場) ●対象: 18歳以上

●定員: 20名 ●会場: 4階セミナールームA ●参加無料

事前申込みが必要です。お問い合わせはホームページまたは
日比谷図書文化館 03-3502-3340(代表)まで

7月の展示情報

※展示情報は変更する場合がございます。

2F
パープル
ゾーン

「新紙幣の使いかた」(~7/12)

2024年7月から新しいデザインの紙幣が発行されます。前回のデザイン変更から20年が経過し、世界の動きや技術の進化によって、お金のあり方や使い方も変わりました。この展示ではお金の新しいかたちや使い方を学べる本を並べています。

2F
パープル
ゾーン
三角台

「『本』という記憶」(6/26~7/21) NEW!

ルポルタージュ・伝記・ノンフィクションなどの本は、実際の出来事を「記録」し、それはやがて実態のある「記憶」になっていきます。日比谷図書文化館にはどのような「記憶」が保管されているのでしょうか?多角的な目線で本を展示します。

3F
ブルー
ゾーン

「冒險 あるいは憧れと羨望と狂気と挑戦と失敗、そして人生」(~10/18) NEW!

本展示では、いつの時代も私達を魅了してやまない、冒險をテーマに本を集めました。たまには日常を飛び出し、心のまま、身体中でワクワクを感じながら冒險に出かけてみませんか。世界はまだまだ驚きに満ちています。私たちの人生はもっと、胸躍るものであって良いはずです。

3F
エレベーター
ホール

日比谷カレッジ関連展示

「トルコを読む トルコを見る」(~7/24)

日比谷カレッジ「トルコを知るタバ」の講師にお迎えする鈴木董氏の著作をはじめ、トルコの歴史や文化に関する本を並べました(一部貸出可)。トルコ人作家による風刺漫画作品とあわせてご覧ください。協力:World Cartoon Forum

「ヨミダス」とは?

今年「ヨミダス歴史館」から「ヨミダス」にリニューアルし、記事の扱いの大きさが一目でわかる「紙面を見る」機能が追加されました。

読売新聞の明治7年の創刊から現在までの約1500万件の記事検索ができるほか、「The Japan News」の記事も収録しています。昭和8年以降の地域面(沖縄を除く)「昭和の地域版」も収録しており、全国の出来事も調べられます。

現代人名録や用語辞書の検索機能もある、国内最大級の記事データベースです。

〈テーマ展〉

指定文化財

千代田区では昭和58年(1983)

に文化財保護条例が制定されて以降、令和6年4月までに区の指定文

第1期

絹本墨書き掛軸「日枝神社」
山岡鉄舟筆

神田の商家生活用具

第2期



化財に80件が指定されています。古文書や絵画のほか、民具や伝統技術などいずれも区の歴史を知る上で、大切な文化財です。今回のテーマ展では区指定文化財の中から文化財事務室の学芸員が「ぜひ見てほしい!」と思ったものを、3期に分けて紹介します。6月からは、今年4月1日に指定され、初公開となる絹本墨書き掛軸「日枝神社」山岡鉄舟筆を展示します。

第3期 神田亀住(かめずみ)町文書

●会期:

6月18日(火)~
12月15日(日)

第1期 6月18日(火)~ 8月18日(日)

第2期 8月20日(火)~ 10月20日(日)

第3期 10月22日(火)~ 12月15日(日)

●展示場所: 1階常設展示室

calendar 開館時間: 平日10時~22時 土曜10時~19時 日祝10時~17時 休館日

2024年 7月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

2024年 8月

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

!掲載されている内容について変更や中止となる場合があります。
最新情報は、ホームページ等をご確認ください。

お問合せ先: 千代田区立日比谷図書文化館 〒100-0012 千代田区日比谷公園1-4 TEL: 施設代表 03-3502-3340 図書総合カウンター 03-3502-3343 URL: <https://www.library.chiyoda.tokyo.jp/hibiya/>

access

〔都営地下鉄〕
●三田線「内幸町駅」A7出口 徒歩3分
〔東京メトロ〕
●丸ノ内線
●日比谷線
●霞ヶ関駅 B2出口 徒歩3分
●千代田線
●霞ヶ関駅 C4出口 徒歩3分
〔JR〕
●新橋駅 徒歩10分
※当施設に駐車場・駐輪場はございません。公共交通機関をご利用下さい。

7・8月の講座

＜参加申込＞電話(03-3502-3340)またはホームページにて、講座名、お名前(よみがな)、お電話番号をご連絡ください。当館1階の受付でもご予約を承ります。各講座ともに定員になり次第、締め切らせて頂きます。キャンセルの場合はご連絡ください。参加費は当日支払いです。

千代田区民料金のある講座は、当日、図書貸出券や健康保険証など住所が確認できるものをお持ちください。

「日比谷カレッジ」とは、日比谷図書文化館が主催・共催で行うセミナーやイベントです。江戸・東京「本」「スキルアップ」「芸術」「センスアップ」の5つのカテゴリーに基づき、さまざまな「学び」と「交流」の場を提供します。

7/3 (水) トルコを知る夕べ 第一夜
「トルコとトルコの文化」

講師:鈴木 董(東京大学名誉教授・歴史家)

今年は日本・トルコ修交100年。トルコ共和国の前身・オスマン帝国の歴史をまず通観します。そしてイスラム文化の影響下で成立したオスマン文化の特色を概観し、それが19世紀以降に近代西欧文化、とりわけフランス文化の影響下に変容し、現代トルコ文化形成に至った過程を明らかにします。

(後援:駐日トルコ共和国大使館)

■日時:7月3日(水)19:00~20:45(18:30開場)
■会場:地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール)
■定員:200名 ■参加費:1000円

7/5 (金) 展覧会への入口講座Vol.39

「朝鮮民族美術館をめぐって」
-日韓文化交流の礎となった日本民藝館のルーツ

講師:杉山 享司(公益財團法人日本民藝館 常務理事・元学芸部長)

朝鮮時代の美術工芸を一堂に会する史上初めての展示施設であった朝鮮民族美術館(1945年閉館)。思想家の柳宗悦が浅川伯教・巧兄弟とソウルの景福宮内に開設して、今年で100年の節目を迎えます。本講座では、その足跡をたどりながら、美術館が設立された目的や意義、蒐集されたコレクションなどについて紹介します。

■日時:7月5日(金)19:00~20:30(18:30開場)
■会場:地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール)
■定員:200名 ■参加費:1000円

7/20 (土) 境界 戦争体験者の証言2024

語り部: 西倉 勝

戦後、ソ連軍によってシベリア・コムソムリスクの収容所へ抑留された西倉勝氏。極寒での強制労働と慢性的な飢えに苦しむ生活で「故国の土を踏むまでは、白樺の肥やしになるまいぞ」を合言葉に仲間と励まし合ってきました。西倉氏は、切なる平和への願いから「戦争から生まれた悲劇」を赤裸々に語ります。

■日時:7月20日(土)14:00~15:30(13:30開場) ■会場:4階 スタジオプラス(小ホール) ■定員:60名 ■参加費:1000円(学生500円) ※学生の方は、当日、受付で学生証をご提示ください。

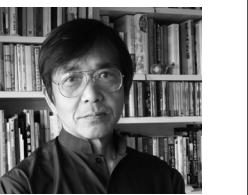
7/24
(水)

トルコを知る夕べ 第二夜
「風刺漫画から見るトルコと日本の100年」

講師:横田 吉昭(風刺漫画家・学術博士)

日本はマンガ大国と言われますが、今年国交100周年を迎えたトルコ共和国も実は風刺漫画大国です。その両者の展開は近代化の中で大きく異なります。トルコはフランスの影響を受けながら独自の風刺漫画が育ちました。その発展のありかを日本と比較しながら示していきます。(後援:駐日トルコ共和国大使館)

■日時:7月24日(水)19:00~20:45(18:30開場)
■会場:地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール)
■定員:200名 ■参加費:1000円



8/1
(木)

日比谷図書文化館ツアー

講師:小野田 由紀子(女優、ナレーター)

図書館講座や常設展の見学、朗読企画のほか、ふだんの館内ツアーでは見られない閉架書庫も見学できるツアーです。

■日時:8月1日(木)10:30~12:00(10:00開場)
■会場:4階 セミナールームA(会議室)
■定員:20名 ■参加費:無料

(対象:千代田区内在住・在学の中学生)
※区の公民協同推進制度により、株式会社クリエイトとの協力で実施しています。

共催:日比谷図書文化館・千代田区・株式会社クリエイト



画像提供:株式会社クリエイト

8/1
(木)

中学生のためのやさしい小説書き方講座

講師:小野田 由紀子(女優、ナレーター)

二本松 泰子(文藝学校サブ講師)

山竹 伸一(株式会社クリエイト取締役、文藝学校サブ講師)

キャラクターづくりや物語の組み立て方など、小説の基礎から文学賞への応募方法まで丁寧にレクチャーします。小野田由紀子氏による過去のちよだジュニア文学賞受賞作品の朗読も予定。読んで、聴いて、書いて学べる小説講座です。

■日時:8月1日(木)13:30~16:30(13:00開場)
■会場:4階 セミナールームA(会議室)
■定員:20名 ■参加費:無料

(対象:千代田区内在住・在学の中学生)

※区の公民協同推進制度により、株式会社クリエイトとの協力で実施しています。

共催:日比谷図書文化館・千代田区・株式会社クリエイト



画像提供:株式会社クリエイト

8/8
(木)

日比谷オペラ塾「オペラ・あ・ら・かると bis」
没後100年記念 プッチーニ特集

今回は、ジャコモ・プッチーニの没後100年を記念して、プッチーニの特集を3ヶ月にわたってお送りします。第2回は、プッチーニからも絶賛されたという歌手・三浦環や、日本の旋律を紹介した大山久子など、『蝶々夫人』をはじめとしたプッチーニと日本との関係を、萩谷由喜子氏が解説します。

(主催:フェニーチェ劇場友の会)

■日時:8月8日(木)19:00~20:30(18:30開場)
■会場:4階 スタジオプラス(小ホール)
■講師:萩谷 由喜子(音楽評論家)

9月19日(木)19:00~20:30(18:30開場)
■会場:4階 スタジオプラス(小ホール)
■講師:山田 治生(音楽評論家)

■会場:4階 スタジオプラス(小ホール)
■定員:60名 ■参加費:1000円(全席自由)



ジャコモ・プッチーニ
(1858-1924)

8/9
(金)

戦争の記憶を消してはいけない!
PART2—辻井喬、加藤周一、水上勉の場合—

講師:山口 昭男(岩波書店元代表取締役社長)

「戦争の記憶を消してはいけない」は作家・井出孙六がよく口にしていた言葉だった。今回はその第二弾として辻井喬、加藤周一、水上勉の三人を取り上げたい。彼らは何を思い、何を後世に残そうとしたのか。また戦後生まれの私たちは、どのように戦争の記憶を伝えることができるのかを語る。



■日時:8月9日(金)19:00~20:30(18:30開場)
■会場:地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール)
■定員:200名 ■参加費:1000円(学生500円)

※学生の方は、当日、受付で学生証をご提示ください。

8/21
(水)

マンガの“いま”を考える③
マンガで育む読解力—「読むこと」の意味を考える—

講師:岸 圭介(早稲田大学系属早稲田実業学校初等部 教諭)

マンガは「娯楽」としての側面が目立ちますが、一方で多くの「学び」を与えてくれるメディアでもあります。本講演では藤子・F・不二雄による『ドラえもん』(小学館)の作品を通じて、「読解力」という観点から、マンガと活字読書との関連性について示していきます。



■日時:8月21日(水)19:00~20:30(18:30開場)
■会場:4階 スタジオプラス(小ホール)
■定員:40名 ■参加費:1500円(資料代含む)

古書で紐解く近現代史セミナー第47回
満洲国の首都「新京」—歴史と名所をたどる—

講師:長谷川 恵(皇學館大学文学部国史学科准教授)

中国・吉林省の長春は、1932年に満洲国が成立すると「新京」と名付けられ、首都として近代的な街路・建築の建設と各種のインフラ整備がなされました。本講座では、多数の画像を用いながら都市の歴史や首都整備計画のあらましを紹介し、当時の名所や旧跡について時代背景と共に解説します。



■日時:8月24日(土)14:00~15:30(13:30開場)
■会場:地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール)
■定員:200名 ■参加費:1000円

From Chiyoda Public Library【千代田区立図書館からのおしらせ】

第4回 ちよびた落語会

出演:古今亭志ん松、春風亭昇羊、三遊亭萬都

恒例となりましたちよびた落語会。

今回も気鋭の漸家3名による

落語をお届けします! どうぞお楽しみに♪

主催:千代田図書館 読書振興センター



◆日時:7月13日(土)15時~16時45分
(14時30分開場)

◆会場:千代田区役所1階 区民ホール ◆定員:60名(事前申込制、先着順)

◆申込:6月24日(月)10時~7月12日(金)18時まで
千代田区立図書館ホームページからお申込みください。

定員に達しない場合のみ、開演の10分前より当日券販売あり。

◆参加費:1000円(全席自由)



古文書塾てらこや本講座開講

古文書専門塾として、初心者から経験者まで楽しみながら学んでいただける「古文書塾てらこや」。多種多様な講座を開催します。



講座名	曜日・時間	実施日
古文書のいろは 筆字のくずし字	(月) 10:30~	7/8
	(月) 13:30~	7/8
	(火) 10:30~	7/9
	(木) 13:30~	7/11
	(金) 13:30~	7/12
	(金) 18:30~	7/12
いろはの次—古文書いろいろ(午前クラス)	(火) 10:30~	7/16
いろはの次—古文書いろいろ(午後クラス)	(火) 13:30~	7/16
文人画と碑文一掛軸を読む	(日) 13:30~	7/7
古文書の保存・修復の知技能—古文書保存のセラピスト講座	(火) 13:30~	8/6
武家文書を読む—幕府崩壊事情	(水) 13:30~	7/17
幕末・江戸庶民の世相を読む—「嘉永雑記」の世界	(木) 10:30~	7/4
くずし字で楽しむ江戸歌舞伎	(土) 13:00~	7/13
大久保利通の手紙を読む	(火) 19:00~	7/9
開国ニッポンの外国人	(水) 13:30~	7/10
江戸を楽しむ—江戸の寺社あれこれ	(木) 18:30~	7/4
江戸・明治の書状を読む—形式と内容、一歩から	(金) 18:30~	7/5
ハーバード大学本「源氏物語 須磨」の変体仮名を読む	(土) 13:00~	8/3
陽明文庫旧蔵「百人一首」の変体仮名を読む	(土) 15:30~	8/3
会場: 4階 スタジオプラス、セミナールーム		
■定員:各講座23名(申込順) ■参加費(初回一括払い):【入門コース】【本科コース】16,800円(全5回/各回120分/資料代500円) 【特別講座】13,650円(全5回/各回90分/資料代500円) 【特設・月1回コース】8,190円(全3回/各回90分/資料代300円) ■特設・月1回コース「源氏物語 須磨」の変体仮名を読むは、ハーバード大学本「源氏物語 須磨」(新典社 1,760円税込)を、また「百人一首」の変体仮名を読むは、「変体仮名翻字版百人一首」(伊藤編1,800円税込)をそれぞれテキストとして用います。(当館にてあります。)		
■資料請求・体験講座のお問い合わせ:電話(03-3502-3340)		

特別研究室企画展示

100年後も手に取れる本に
～内田嘉吉文庫修復報告2024～

入場無料